

発行 長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会【事務局】〒380-8546 長野市南県町657 信濃毎日新聞読者センター内  
電話 (026) 236-3480 ファクス (026) 236-3193 Eメール nie@shinanoji.net



記事の書き換えを体験し、気づいたことを共有する参加者

## 「伝えたいこと」を突き詰める

松本で第19回県NIEセミナー

### 「やさしい日本語」テーマに講演と体験

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会は11月22日、第19回県NIEセミナーを松本市の信毎メディアガーデンで開きました。新聞記事を外国人にも伝わりやすい「やさしい日本語」で書き換える学習がテーマ。兵庫県立伊川谷高校(神戸市)主幹教諭の福田浩三さんによる講演、長野県地域日本語教育コーディネーター(中信担当)の一氏隼人さんによるワークショップがあり、小中高校の教員ら25人が参加しました。

#### 福田さん「多文化共生を意識づけ」

福田さんは1年生の科目「コミュニケーション基礎」で「やさしい日本語」での記事書き換えをしました。講演では、日本で暮らす外国人の増加などをデータで

紹介。「生徒には、多文化共生・国際理解を意識づけるような心がけた」と狙いを話しました。

この科目では年間を通じて新聞を活用。紹介。「生徒には、多文化共生・国際理解を意識づけるような心がけた」と狙いを話しました。

#### 参加者「相手の靴を履く」経験に

「慣れる」から始め、「記事を読み解く」「校内行事の感想を『はがき新聞』で表現する」「新聞感想文コンクールに応募

する」と段階を踏んでいます。生徒は、感想文を書くために選んで読み込んだ記事を「やさしい日本語」で書き換えまし

た。福田さんは新聞活用について「記事の読み込みが生徒にとって大切。かつフアクトチェックされた情報である」と話しました。

き換えました。「『議員』を説明すると、文字数が増える」「学校名は省略するか書き換えるか」と悩みながら書きました。一氏さんは「イベント告知記事の場合、会場名を検索できるような、省略や書き換えをしない」などと助言。また、「伝えたいことを明確にしているから、書き換えを考えましよう」と話しました。

参加者からは「相手の靴を履く」経験は子どもたちにも必要。『やさしい日本語』を必要とする人がいることを知らせたい」との声が上がりました。

## 26~27年度指定校を募集

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会(会長 篠崎正典・信州大教育学部准教授)は12月23日まで、県内の小中学校・高校を対象に2026年度から2年間のNIE研究指定校を募集しています。NIEは学習指導要領が求める「思考力、判断力、表現力」の育成などに役立ちます。また、一人一人の能力や特性に応じた「個別最適な学び」に

も活用できます。

指定校は現在計12校。毎年度、半数をめぐり入れ替わります。今回募るのは

12月23日まで  
小中高計6校

小学校3校と中学校2校、東北信地方の高校1校です。NIEを研究する教員が2人以下の場合、協議会加

盟社の新聞各1部を各年度に3人月分ずつ提供します。3人以上の場合は同4人月分ずつとなります。

指定校は各年度1回の公開授業を開くほか、実践報告をしていただきます。25年度は全国で約550校が取り組んでいます。

申し込み、問い合わせは平日に同協議会事務局(電話026・236・3480)へ。